

タイトル：東ブロック研修会・交流会

「食べる」を支える～摂食嚥下リハビリテーションの実際～

日時：2026年8月29日（土）

場所：三島商工会議所 4階大会議室

参加人数：40人

・【研修会】「食べる」を支える～摂食嚥下リハビリテーションの実際～

講師：東京科学大学摂食嚥下リハビリテーション分野講師 山口浩平氏

食べ物や飲み物を安全に摂取するために行う、口や喉の機能訓練や食環境の整備について、「食べる」ことを支える現場の工夫や機能と環境を調和させる対応などを学んだ。

自ら訪問歯科診療などの現場に出られる先生ならではのリアルなお話はとても興味深く、また、映像を交えて下さることにより理解が深まった。

【交流会】

栄養士以外の多職種の方々の参加もあり、講演内容にもあった「多職種連携」を意識した話し合いをすることができ、大いに盛り上がった。

・ 参加者の感想

★少量でも食べることの重要性について、食べる側だけでなく、介護する側も家族の帰属意識の変化が出てくることがあると気づかされました。

★多職種の方たちと連携できる環境を作りたい。

★嚥下調整食が作れる料理人を一緒に勉強して育てていきたい。

報告者名：東ブロック 鈴木

作成日：2026年8月29日